



Est.1912

# まこと館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



## 法人の財務成績表

残暑の候とはいえ、まこと館のある至誠の森は、未だ蝉が盛んに鳴き渡り、実に賑やかです。しかし、暑さの中にも秋は静かに忍び込み、間もなく鈴虫などの声に移り変わることでしょう。長引くコロナ禍は、一旦は落ち着きを示したように見えたのですが、第7波のオミクロン株は、BA.5 に変異するなど、感染力がさらに増し、利用者、職員にも感染者が多数出ています。法人の事業では、一部デイケアの休業、保育園等の休園を余儀なくされるなど、大きな影響を受けています。今回の第7波では、政府からも基本的に行動制限や休業要請はなく、通常为社会活動が営まれておりますが、一部では病床使用率が逼迫するなど、安心した社会生活を送るには、まだ少し時間がかかりそうです。

さて、今回は、令和3年度の決算の話です。今期も早、第二四半期を迎え、執行状況が気になるところです。前年度の決算は、既に6月の評議員会で承認され公表はしていますが、今一度ここで確認したいと思います。

2021 年度 社会福祉法人 至誠学舎立川 決算収支総括表  
事業本部別決算額・総合計

	経常活動収入		経常活動支出		経常活動資金収支差額		当期資金収支差額	
	金額	増減額	金額	増減額	金額	増減額	金額	増減額
児童事業本部	1,383,397	67,831	1,285,093	119,872	98,305	△ 52,040	△ 238	△ 21,779
保育事業本部	2,795,999	△ 22,330	2,421,421	60,542	374,578	△ 82,872	△ 48,523	△ 189,335
高齢事業本部	3,222,348	△ 49,649	3,232,463	△ 58,124	△ 10,114	8,475	△ 50,565	97,676
総合計	7,405,341	△ 4,266	7,000,258	115,449	405,084	△ 119,715	△ 94,306	△ 109,750

注) 合計には法人事務局分を含むため、3事業本部の合計と総合計は一致しない。

決算は言うまでもなく、年度の財務状態を明らかにし、経営の状態を表した重要なものです。ここでは至誠学舎立川の全体決算状況を「決算収支総括表」としてまとめています。法人全体の経常活動収入（以下、収入）の総合計は、約74億で前年とほぼ同額です。経常活動支出（以下、支出）は前年より1億1500万円増え約70億円となりました。その結果、本業では4億位の経常活動収支差額（以下、本業の利益）が出ていますが、これに借入金の返済金等を含めると、「当期資金収支差額（以下、合計収益）」は、約1億の赤字となりました。事業本部毎に見ても合計収益は、個別の要因はともかく、残念ながらすべての事業本部で赤字決算となりました。

続いて各事業本部の状況です。まず初めに児童事業本部ですが、収入は増えて約14億となりました。しかし、昨年開設した障害福祉センターの利用者の稼働等影響もあり、収入以上に支出が増えました。そのため本業の利益は、昨年より5千万円減少して約1億円弱となりました。この結果、借入金の返済等を加えた当期の合計収益は、若干の赤字となりました。

次に保育事業本部では、約28億の収入に対して24億の支出となり、本業の利益は4億弱となりましたが、高齢事業本部への資金の繰入、施設整備等のやり繰り等で、合計収益は5千万位の赤字となりました。

最後に高齢事業本部では、収入は昨年より5千万円減り32億となり、支出は昨年より約6千万円減らしたものの、32億3千万円となり、本業の利益は約1千万円のマイナスとなりました。これに、借入金の返済等が加わり、法人本部、保育事業本部から繰り入れ等の支援を受けましたが、最終的な合計の収益は5千万円の赤字となりました。

積立金の状況は、児童事業本部が6億2千万円、保育事業本部が21億4千万円、高齢事業本部が8千万円、法人本部が1億2千万円で、法人合計で29億5千万円となりました。一方、借入金は、児童事業本部が約2億2千万円、保育事業本部が1億7千万円、高齢事業本部が29億、法人合計では38億1千万円になりました。法人全体の借入金を積立金で全て埋めたとしても約8億6千万円足りないという状況です。

特に高齢事業本部では、本業で収益が出せていない一方、過大な借入金の元利返済が経営に重くのしかかっている状況から、令和3年度に緊急事態を発生し、財政健全化に向けて、経費の削減、事業費の削減を始めとし、分担金の軽減や資金の繰入・借入金の肩代わり等法人全体で取り組んでまいりました。

改めて、関係する全ての皆様にご挨拶とお礼と感謝を申し上げます。

今年度は更に法人全体で、財政健全化策に取り組み、持続可能で安定的な経営を目指してまいります。そして地域からも安心して、信頼される法人として努めてまいります。

理事長 稲永勝行

